【プレスリリース】 平成29年9月27日**デザインナンバープレートの交付について**

「伊勢志摩サミット」開催1年経過を節目の年として、漁の技術が国に重要無形民俗文化財に指定された「海女」や市の特産品である「真珠」・「伊勢えび」・「安乗ふぐ」、横山からの景観、参観灯台などを活用したナンバープレート作成による話題づくりを通じて、志摩市を全国に情報発信します。

【交付開始】

平成30年1月から（予定）

【効果】

二輪車等に新課税標識を付けて走ることで、目的地までの走行や駐車等で人目に触れる「走る広告塔」として、市外の人に対しては志摩市への関心を促すPR効果が期待できます。市内の人に対しては、郷土への愛着心を促すPR効果が期待できます。最終的には、全体のシティセールスの取組の一部として、志摩市への愛着心の醸成、来訪者の増加、地域における経済の活性化を期待します。

【車両種別】

- ・原付50cc以下（白）
- ・51cc～90cc（黄色）
- ・91cc～125cc（ピンク）

【導入方式】

導入方式は、恒久導入と期間・枚数等を決めての限定導入の方法がありますが、恒久方式とします。

【交付方法】

既存課税標識の在庫を処理するため、新課税標識と既存課税標識の2種類の選択制とします。

【参考】

平成28年10月3日現在 全国で441市町村が導入しています。

県内では、四日市市・伊賀市・松阪市・亀山市・尾鷲市・鳥羽市・木曾岬町の6市1町が導入しています。

【問い合わせ】

志摩市総務部課税課 電話44-0211